鳥海讃歌

ＧＴＨ通信　第４３号　令和３年５月１４日（金）
校長室より

「学力向上」への挑戦　すべて「event」に変換せよ！

仁高生の皆さん、中央地区野球大会、中央支部総体お疲れ様でした。５月３日、７日～９日と各会場を巡り、皆さんの活躍を拝見しました。

各会場で目のたりにしたのは、「真剣なまなざしで勝負に挑んでいる仁高生の姿」でした。選手には相手の顔は認識できても、自分自身の必死なら形相は、想像もつかないよく知れませんでした。しかし私には、皆さんの表情から勝負に賭ける覚悟が伝わりました。これから先選手の皆さん、先生方に指導のもと６月の全県総体、７月の甲子園予選に向けて、課題の克服にチャレンジしてください。

一方、選手としてではなく、大会運営に携わってくれた生徒もいました。部員不足のため、助っ人として参加してくれた生徒もいます。見えない部分で沢山の人々に支えられている感謝を申し上げます。今大会をいままでにない多くの生徒・教職員に「安全活動」を実施するためには、各部ができる限りコロナが収まるよう、部活動に工夫が必要になります。ご今後ともご厳しい制約の対策を講じながら、次の目標に挑んでください。

さて、来週月曜日から第１学期中間考査が始まります。皆さん、準備は進んでいますか？

１年生は、高校に入学して初めての考査です。中学校時代の試験勉強の方法は、学力向上に役立ちましたか。２・３年生は、これまで実践してきた過去の考査対策に慣れていませんか。

自分で計画を立てて、考査に備えてコツコツ「自学」できている生徒、他方で、何を勉強すればよいか迷い、困っている生徒がいるかも知れません。仁賀保高校では、考査の１週間前を目処に、学習会等を開催して、生徒の皆さんの「やる気」を支援しています。是非活用してください。

私は、試験（考査）は「ｅｖｅｎｔ」だと思っています。皆さんは「イベント」というと、体育祭、学校祭、全校鳥海登山や修学旅行、球技大会等を思い浮かべるでしょう。そこでは、楽しい気持ちやワクワク感、充実感や達成感をゲットできます。

ここで、「考査」＝「イベント」＝「部活動の大会」とイコールで結んでみましょう。大会で勝利するためには、現状分析によるメニュー課題の発見を通して、目標達成に向けて指導者と共に考えた練習方法の「本質」を、今度は考査対策にも取り入れてみませんか？「部活動」と「考査」では、やる気やモチベーションが違うから無理だと考えずに、双方とも「イベント」と捉え直して、ワクワク感を胸に抱きながら、充実感を得るためにトライしましょう。

いよいよ令和３年度最初の考査です。最初が肝心、試験も部活も「イベント」と考え、自己分析を基本に置いて、わからないところは、積極的に友人や教師に聞いてください。これまでで理解できなかったことが、ひとつでもクリアできたら、達成感が生まれます。中間考査という「イベント」を通して、「勉強に打ち込み、楽しむ仁高生」に変身してください。

★　**アイコンタクト（ｉcon ｔ act３）**を心がけてください。目と目で通じ合い、face to face で向き合いながら、「考えながら行動する」笑顔の素敵な人間たれ！
★　**メモ**をとる習慣を確立しましょう。生徒手帳をフル活用してください。メモをとる習慣は、将来必ず役に立ちます。
★　**意識力**＝意思・意志（瞬間）＋気力（持続）です。意識力を育成することで、学ぶ力が増幅します。考えたことを継続してやり抜きましょう。
★　**ＧＴＨ**は、「疑問→探究→発見」という学びの方程式です。
★　**「自己有用感」**を高めてください。そのためにあなたは何に挑戦しますか？
　自分が誰かの役にたつためには、**感謝**の心と**自己肯定感**を持つことが大切です！
★　**ＮＰＴ**は仁賀保高校プログラミング思考の略称です。ＮＰＴを意識して、学びを活性化しましょう。プログラミングは、**Trial＆Error**で進めましょう！
★　**「自分事」「当事者意識」**を持って取り組む仁高生に変身しましょう！